

## 日臨技認定センター お知らせコーナー！

認定指定講習会、認定試験など認定に関するお知らせコーナーです。詳細はホームページをご覧ください。

### ◇ 認定一般検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：佐賀県臨床検査技師会  
日 時：平成 22 年 3 月 7 日(日)9:30  
会 場：佐賀社会保険病院
- 2) 主 催：埼玉県臨床検査技師会  
日 時：平成 22 年 3 月 13 日(土)10:00  
会 場：北浦和カルタスホール
- 3) 主 催：中部地区臨床検査技師会  
日 時：平成 22 年 3 月 20 日(土)11:30・21 日(日)9:20  
会 場：三重大学医学部
- 4) 主 催：和歌山県臨床衛生検査技師会  
日 時：平成 22 年 5 月 21 日(金)16:00  
会 場：神戸国際会議場 国際会議室

### 研修会のお知らせ！

#### ◇ 日臨技 NST 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 7 日(日)  
会 場：チサンホテル 心齋橋

#### ◇ 日臨技 CRC 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 20 日(土)～22 日(月)  
会 場：日本臨床検査技師会館

内 容： 詳しい内容は、医学検査 1 月号とホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

本研修は、臨床試験の意義と CRC の役割を理解し、医療の向上に努める人材を育成するために開催いたします。内容は日本臨床薬理学会の「CRC のための研修ガイドライン」に準じ、特に臨床検査技師が習得する機会の少ない項目を重視しています。会員優先ですが、定員に満たないときは、他職種の方も参加可能です。

### 編集を終えて…

- ◇ 「人間の心は本能で決まる」と語るのは、脳を科学する救命脳外科医の林成之先生です。本能とは、①自分だけを守る自己本能、②仲間を好きになる本能、③統一貫性、すなわち判断や考えにより正誤を判断する本能、④互いの違いを認めてともに生きる本能一が考えられます。人間の④の本能は動物に比べ劣ります。そのため、人間が絶滅した地球に残ることが出来るのは動物です。
- ◇ 物事に夢中になれる…没頭出来るのも人間の本能です。それを、一般的には“馬か”になるといいます。
- ◇ “馬か”にも色々あります。時にはハチャメチャになる…周囲を気にすることなく物事に没頭する…火事場のバカ力を発揮する。これもみんな脳や本能によるものです。
- ◇ 人間の脳血液は負の気持ちを持つと、急に落ち込みます。負の意識で脳は本来の力を発揮できません。脳をフル回転させるのは勝敗ではなく、“勝つ方”に集中することです。やると決めたら最後までやる抜く本能により火事場のバカ力も生まれます。
- ◇ 凄い力を発揮するには、脳に興味を持たせること、能動的になりほかの事を考えないという素直さが大切です。
- ◇ 愛される“馬か”には、“自分は生涯これで行く”という覚悟で物事にあたる…即ち、自分を捨てることが大事です。これは、命をかけることとは違います。
- ◇ 人間の脳細胞は 1 日に 3～4 万個ずつ死んでいきます。それを阻止し、脳に新しい細胞を蓄えさせるためにはシナプス細胞の回路を増加させることです。そのためには、物事を前向きに考え、何度でも繰り返し思考すること…“馬か”になることです。
- ◇ 皆さん、愛される“馬か”になりませんか？“馬か”になる瞬間って、気持ちの良いものですよ…
- ◇ さて、平成 21 年度会報 JAMT も本号が最終号です。皆様からご意見をいただきありがとうございました。
- ◇ 今年度の会報は内容に乏しくありふれたもので、論説も少なく行事の報告に終始し“かわら版”的なものになってしまいました。反省すべき点です。これも“馬か”になりきれなかったためでしょうか？
- ◇ この社会における「情報(Media)」は貴重なものです。周囲には、インターネットをはじめ、テレビ、ラジオ、FAX、電話、看板から標識に至る多くの情報が“馬か”みたくあふれています。
- ◇ 世の中の多くの情報は加工されていると考えるべきです。実際に世の中への影響は大きく、その情報により世の中が動きます。代表的なものでは 1973 年中東戦争に端を発するトイレットペーパーの買い占めなどがあります。それだけ、情報は操作が可能であり、発信元の責任が重大です。
- ◇ 情報は加工されているとはいえ、必ずしも間違いではありません。受け取り方が正しくない場合も多く、その的確な判断が肝心です。そのためのクロスチェックが大切になります。臨床検査に係る多くの情報誌や進学情報を見て下さい。間違いとは言えないが、誤った受け取り方により…そんなはずではなかったのに？などという結果を与えかねません。
- ◇ 的確な情報を如何に伝えるかは発信元の裁量であり、責任が重要です。結果、発信者も…そんなはずではなかったのに？という結果になりかねません。
- ◇ 会報 JAMT は“カラー”になって数年を経過しましたが、的確な情報の伝達として編集のデザイン、色、写真、表なども重要な要素となります。内容を読んでもらい、意図や思惑を伝えるのは、ネクタイや勝負下着と似通ったところがあるかもしれません。
- ◇ 情報世界における最大の Media…とは、やはり“人”にほかなりません。発信元の責任として、「文章を読める、書ける」が重要です。読者も同様に的確な判断力が必要です。
- ◇ 発信元である組織(日臨技)の運営に携わる理事の文章力は組織の将来を決める最大の要素とも言えます。運営に携わる理事全員による情報の発信も当然必要です。それにより、組織の資質がわかるとともに“理事資質の向上”にも繋がるでしょう。
- ◇ 来年度の会報 JAMT は大きく変わることは？(…無いと考えたいですが)、読者である会員に、より有効な情報源として、更に、世の中を動かす武器として発信するべく、理事一同、愛される“馬か”になることも必要でしょう。
- ◇ 1 年間ありがとうございました。

【高田 鉄也】